

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野 貞夫

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 ☎763-5110
会長 新美 敢
幹事 堀江 宏輝
会報委員長 魚津 常義

No. 17

ロータリーに活力を——あなたの活力を

PUT LIFE INTO ROTARY — YOUR LIFE

1988~89年度 RI 会長 ロイス・アビー

第309回例会 昭和63年10月25日(火) 晴

◇“奉仕の理想”

◇出席報告

会員 58名 出席 37名
出席率 63.79%
前回 10月18日 (修正出席率) 100%

◇ビジター紹介

赤穂 RC 井本 学雄君 他1名

◇ニコボックス

小山 雅弘君、佐久間 良治君 卓話をするにあたり

渡辺 辰夫君 待望の初孫が生まれました。お爺さんといわないで、大パパと呼ばせるつもりです。

武内 清君 母の葬儀にはお世話になり有難うございました。厚くお礼申し上げます。

永井 正義君 大口先生、T・B会ではお世話になりました。早退します。

竹内 真三君 日本シリーズ、中日1勝しました。

松居 敬二君、水野 賀統君 本日、早退します。

鈴木 正男君 結婚記念日祝い。

◇大口副幹事報告

1. 本例会終了後、臨時総会を開催致しますので、全会員の方はそのままお残り下さい。又、その後理事役員会を開催致しますので、理事役員の方は2F橋の間にお集まり下さい。
2. 来年5月21日~24日韓国ソウルにて開催される国際大会の出欠席を連絡されてない方は、お帰りにお知らせ下さい。
3. 次回例会は、ファイアサイドミーティングを午後6時より松風閣にて開催致しますので、昼間の例会はございません。お間違いないようお願い致します。

◇武内君挨拶

過日、母の葬儀には会長さんはじめ多数の

皆様にご出席いただき、誠にありがとうございます。ありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

母は89才で亡くなりまして、天寿を全うした訳でございます。実は私は、6年前に父を亡くしまして、今度母を亡くし、両親を亡くした訳です。母を亡くした後は、少し淋しく心落ちつかないような気持ちでございます。今後、家内共々長生きをしていきたいと思っております。皆様どうもありがとうございました。

◇新美会長挨拶

恋が実るシーズンであります。超豪華な結婚式も自粛ムードに煽られて取り止めになりましたが誠に結構な事と思っております。

「酸いも甘いも身にありながら色づきや裸になるみかん」なんて言う川柳があります。この頃になると、そろそろ娘も嫁に出してしまわなければなりません。今日は大安吉日何処かで何組かの結婚式が行なわれている事だろうと思っております。嫁さんもらうなら名古屋からとよく言われますが如何でしょうか。又一方では中部地方へは嫁に出す金が掛かってしようもないとも言われます。今やハネムーンの旅行先の殆ど93%が海外旅行と言いますから親も大変だろうと思っております。旅行先はオーストラリア、米国本土、次いでハワイの順で12年間トップだったハワイは3位とか、東京人はアメリカ、名古屋人はオーストラリアだそうです。国内旅行では東京人は北九州、名古屋、大阪は北海道が一位と聞きます。

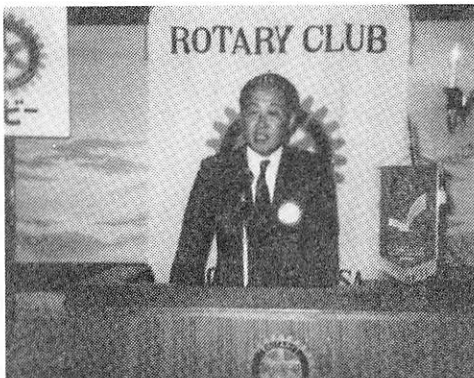
アンケート調査によると旅行日数は東京人の場合8.1日、大阪が7.8日、名古屋人は7.7日の順で当地は誠に質素節約型だと思ったら、その費用をみると名古屋78万円、大阪は74万円、東京が72万円と安く長く、名古屋は短くても豪華にたまって名古屋の伝統は僅かな差ではあるが生き続けている様です。この事は国内組でも名古屋は平均日数5日、費用

は82万円とトップであります。結婚費用でも東京は平均655万円、名古屋は854万円と派手な結婚式が多いが、これからの傾向としては豪華な披露宴に大勢を招くより自分自身の満足の為に費用をかける方向にあります。例えば高価な衣裳が増えてきたとか、ソファや音響製品に金を掛けるとか、こうした事も女性が主導権を持ってきた為で中には新郎の衣裳まで、さっさと決めて行くそうで男性がやさしくなったのか女性の経済力が勝ってきた為か何れにせよ花嫁主導型でカッコよさと有名スターの結婚式に女の夢を託してチャペルで挙げる結婚式が増加したと言いますが、至極当然の事の様です。笑えぬ話は当日になって花嫁のお腹が張り出して折角選んで置いたドレスが着られず着付師を慌てさせる場面もあるとか聞きます。何れにせよ「婚礼は親も娘も痛いこと」と言う句の通りです。

◇ 講 演

“私の職業について”

会員 小山 雅弘 君



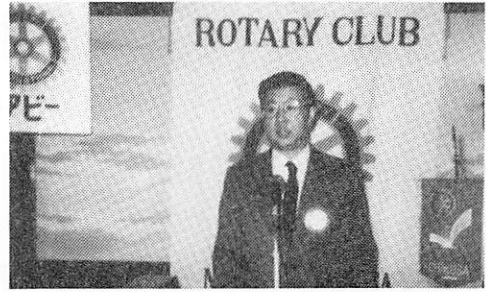
8月より入会させていただきました小山でございます。今日は「私の職業について」というテーマで皆様にお話する機会を得ましてありがとうございます。

家業は石川橋の東山荘南側の住宅地で、「いづみ画廊」という新作日本画専門の画廊であります。父は昭和42年紡績会社を退職したのを機に趣味の絵画収集を生かして中区新栄町に画廊を開き10年前に自宅のあります現在地へ移転致しました。私も自動車会社に8年勤めた後、家業を継ぐこととなり現在、父と2人で画廊の経営にあたっております。

何分素人で始めた仕事ですので、①好きな作家、作品しか扱わない。②直接作家に描いていただいた新作しか扱わない。③作家からいただいた作品は直接お客様に納める。をモットーにしてあります。

今後は非常に難しい仕事ですが、作品を見る目を高め皆様より信頼される様努力致したいと思っております。

会員 佐久間 良治 君



新入会員の佐久間でございます。

この高い壇上で初めて皆様にお会いさつ出来ます事をまずもって御礼申し上げます。

私は二代目で当店は、昭和14年開業し、現在覚王山での営業は、伊勢湾台風のあった昭和34年9月でございました。

皆様方は花店を一見して花々（華々）しい商売に見えますが、花は生きもので一花一花眺めていると何ともいえない情が、わき、いたれりつくせりで手がかかります。そして磨きあげた花を女性にたとえ嫁にいかせるのが花店の仕事だと思っております。これからの花屋さんはデザインとか、センスとかいわれますが、私はもっともっと一花の命を大事にしていきたいと思っております。

ここ10年正花の需要と供給が増大し花の種類も季節感もなくなってしまいそうです。例えばカスミ草等においては、この五年の間に、一年中出荷される様になり、それなりの需要もあります。

最近花のギフトも盛んになり、例えば、母の日は赤カーネーションであったり、ホワイトディは白い花であったりし、誕生日、御見舞等には花の盛合せく（アレンジ）が多くでます。

特に店においては女性客が多いですが、話等を聞いてみますと、男性からの花のプレゼントを頂いた時はとても嬉しいそうです。

当ロータリークラブも男性ばかりですので、奥様や彼女にプレゼントされたら喜ばれると思いがいかでしょうか。

今後当店では新しい感覚をとり入れて、皆様方におかれましても御利用戴きたいと思っております。

◇ 例会変更のお知らせ

名古屋守山RC 11/12(日) F.S.M.の為、アサヒビール御名古屋工場にて PM5:00より

◇ 次回例会（11月1日）

ファイアサイドミーティング
松風閣にて PM6:00より

◇ 次々回例会（11月8日）

講演 “私の留学生活あれこれ”

松下政経塾中部研究会事務局長

前田 雄吉 氏 （紹介 深見君）